

愛媛大学医学部附属病院へご献体いただいたご遺族の方へ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、御献体の関節や骨の形状を X 線・CT 検査などの画像検査を用いて測定したデータを使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、画像データを利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	下肢の筋・腱・靱帯の骨付着部のデジタルデータ化と運動器デジタルツイン構築
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 整形外科 助教 木下智文
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2029 年 3 月 31 日
対象となる方	2024 年 4 月から 2029 年 3 月に愛媛大学医学部附属病院へご献体いただいた方
利用する試料・情報等	性別、年齢、死因、病歴、筋肉や靱帯の肉眼所見、組織所見、画像検査データ 等
研究の概要 (目的・方法)	本研究では、ご献体 50 体を対象に、背骨から足にかけて存在する筋肉や靱帯が、骨のどの位置に、どのような形で付着しているのかを詳しく調べます。CT 画像と手術支援に用いられるナビゲーション技術を活用し、筋肉や靱帯の位置や形を三次元データとして記録し、人体の詳細なデジタルモデルを作成します。 さらに、このデータを、私たちが開発した CT 画像から骨や筋肉の形を自動的に認識する人工知能 (AI) 技術と組み合わせることで、一人ひとりの体の特徴をコンピュータ上に再現する「筋骨格デジタルツイン」の構築を目指します。将来的には、この技術を手術計画や治療方法の選択、治療後の機能予測などに役立てることを目指しています。
個人情報の保護	この研究で収集される試料・情報等は、ご献体の CT 画像等の研究データから

について	氏名、生年月日等の個人を直接特定できる情報を削除し、研究用識別番号を付与して匿名化した上で利用します。個人を特定するための情報（対応表）は愛媛大学において個人情報管理者が厳重に保管し、共同研究機関を含む外部へ提供することはありません。 匿名化した CT 画像データおよび画像解析に必要な最小限の情報は、人工知能を用いた筋・腱・靱帯付着部の自動抽出アルゴリズムの開発および検証を目的として、共同研究機関である奈良先端科学技術大学へ安全な方法で提供します。提供されるデータには個人を直接特定できる情報は含まれず、対応表も提供しません。奈良先端科学技術大学では、本研究の目的以外にデータを使用せず、アクセス制限された環境で適切に管理します。 また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会の承認を受けた上で利用します。なお、研究成果は学術雑誌や学会等で公表する予定ですが、ご献体や献体者個人が特定される情報を公表することは一切ありません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院整形外科 木下智文 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5343